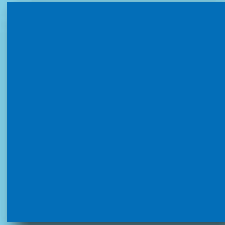
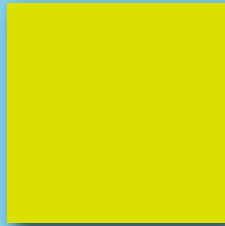
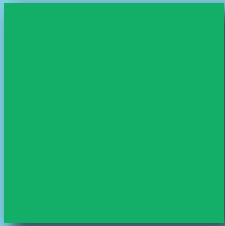


ギガイ だより

vol
155
平成27年8月1日



さかいでの
夏を彩る
イベントは?
(答えは裏表紙)



つなぐ人と人

坂出市議会は、市民の皆さまの架け橋となり、市民の皆さまに開かれ、わかりやすく、市民の皆さまが参画できる議会の実現を目指しています。

contents

新任議員と学ぶ 市議会のイロハ	2~5
一般質問	6~9
フルインター化へ 大きな前進!	10
審議結果	11

新任議員と学ぶ 市議会のイロハ

まだまだ市民の皆さんにはなじみの薄い市議会。新任議員とともに6月定例会を紙上で体験してみたいと思います。また、4・5Pでは、市内公共施設を巡ります。

スタート!

6/11

6月定例会の開会

会期19日間の論戦のスタート。市長から5議案の提案理由の説明がありました。



6/16

議案質疑・委員会付託

各議員が議案内容で不明な点を質疑します。質疑終了後、各所管委員会に議案を付託します。

6/18・19

一般質問

各議員が日頃の活動の中で疑問に思ったことなどを質問します。質問時間は1人30分で、市の執行部からの答弁の時間は含みません。本定例会では8人の議員が質問にたちました。(詳細は6P～9P参照)

check!

残時間は
ここでチェック



6/19

議会運営委員会

追加議案や市民等から提出された陳情書について取り扱いを検討します。(検討結果は11P参照)

定例会が開会する前に



議員研修会(告示日6/4)

開会日1週間前に提出予定議案が各議員に送付されます。本市議会では、全議員参加で議案について勉強会を行います。

議会運営委員会(6/8)

開会日3日前に議会運営委員会を開催し、定例会の運営方法を確認します。質問順の決定、請願や陳情の提出者による説明も行われます。

check!

質問順は抽選で
決定します。



ところで議員の収入は・・・

報酬月額は、

議長 554,000円
副議長 483,000円
議員 433,000円

議員報酬等支給総額は、

	報酬年額	期末手当6月・12月	支給総額
議長	6,648,000円	+ 2,060,880円	= 8,708,880円
副議長	5,796,000円	+ 1,796,760円	= 7,592,760円
議員	5,196,000円	+ 1,610,760円	= 6,806,760円

となっています。

check!

質疑と質問って
何が違うの？

- 質疑は議案内容の不明な点を質すものです。
- 質問は市政全般にわたり報告、説明を求め、疑義を質したり、要望を行うものです。

市議会議員には退職金制度がなく、議員年金制度も平成23年に廃止されています。

閉会!

6/29

議員総会・本会議・閉会

いよいよ議会も最終日。本会議開会前に全議員参加による議員総会を開催し、各委員会の審議状況等を確認します。終了後、ただちに本会議を開催。委員長から各委員会の報告を聞いた後、議員間で討論を行い、最後に多数決で議案の賛否を決定します。また、**追加議案**についても審議します。

会議規則に産休規定を追加!

これまでは本会議や委員会を欠席することができるのは事故ある場合のみとされてきましたが、女性議員が活躍できる環境を整備して議会を活性化し、より良い住民サービスを実現するため、会議規則を改正し、新たに出産のため、議員が本会議等を欠席することができる規定を設けました。

Pick up!



check!

一見の価値あり

本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。



昭和32年建設のレトロな傍聴席

6/22~24

委員会

16日に委員会に付託された議案等について、各委員会で審議します。(詳細は10P参照)



本会議をインターネット配信 いつでも・どこでも市議会を

6月定例会から新たに、一般質問の様子のインターネットでの配信を開始しました。ぜひご利用ください。



委員会の役割

~皆さんの暮らしに身近なことを話し合います~

市の仕事はとても広範囲に及びます。そのため、本会議で全ての案件について議論するのではなく、効率性や専門性の観点から、教育や建設など、各分野ごとの委員会に分かれて、少人数で審議することとしています。各議員は委員会での審議結果を参考にしながら議案についての賛否の判断をします。

また、委員会では、議案の審査だけでなく、委員会が主体となって市政の課題について調査(所管事務調査)を行い、その成果を議案審査等に生かしています。

視察

3名の新任議員と行く

レポート

さ・か・い・で
再発見



充実した議会活動を行うために、まずは坂出の今を知ることが大切です。

そこで、5/27(水)、5/28(木)の2日間にわたって、新任議員恒例の市内公共施設視察を実施しました。

その一部を皆さんにご紹介します。



カヌー研修センター

全国的にも知られたカヌーレーシング競技場です

府中湖カヌー競技場は、当初東四国国体の競技会場として整備されたもので、現在も日本選手権や国際大会派遣選手選考会など大規模な大会が開催されています。平成20年にはフィンランド選手団が北京オリンピックの事前合宿を行った実績もあります。

特別にボートで水上を視察し、コースの全貌を見ることができました。



1日目行程

- 市役所出発 → 与島・岩黒島・櫃石島 → 広域行政事務組合
- 角山環境センター・温水プール → 川津文化センター
- 文教施設エリア（市民美術館・大橋記念図書館・郷土資料館・勤労福祉センター）→ 市民ふれあい会館 → 香風園
- 駅北口・南口広場・市民広場 → 市民サービスセンター
- 中央公民館 → 観光協会事務所・人工土地 → 1日目終了

1日目の お昼休憩

みなとまちCafe

平成25年10月から始まったチャレンジジョブ。
県や市などの補助金等を活用し、約20年前から営業していない空き店舗を改装。起業を目指す市内のかたが日替わりでオーナーとなり、自慢の料理やスイーツを提供しています。



消防署

市民の安心安全のため、がんばっています

めったに入ることのない通信指令室で緊急通報時の対応などの説明を受けました。

ちなみに、現行システムは平成24年3月に運用が開始され、携帯電話などからの通報者の位置を特定する位置情報通知装置や自動出動指令装置などを連動させた最新のもので。

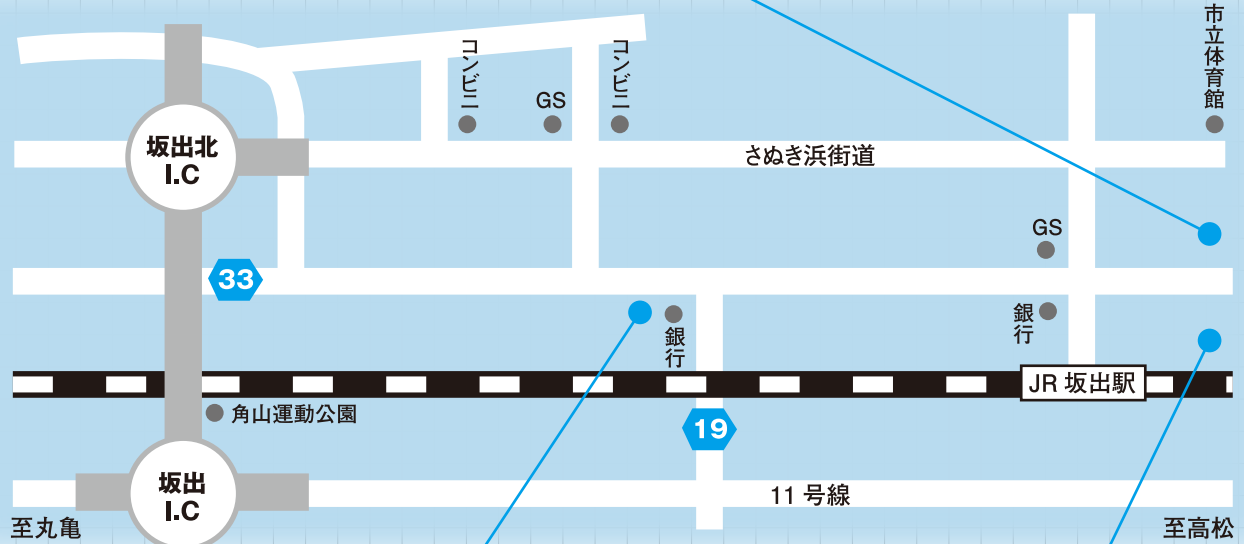


西岸壁

歴史ある港湾施設、緊急物資輸送拠点へ

西埠頭地区西岸壁は、もともと昭和25年に整備。

老朽化に伴う改修工事が、平成26年3月竣工し、荷役効率の向上と大規模地震発生時における緊急物資輸送拠点としての役割が見込まれています。



市立病院

市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に

市立病院は、昭和22年に開設され、その後、文京町に移転、昭和42年に本館を開設しました。喫緊の課題として病棟の耐震補強がある中、平成26年12月に旧坂出小学校跡地に移転。

新病院の視察では、通常は入ることのない手術室等がどのようになっているのか見学しました。また、震度6強程度の地震に対応できる免震・耐震構造を有しており、地下にある免震装置の設置状況を見ることができました。



観光協会 新事務所

「おもてなし まちの駅」として今後期待

人工土地1階南側の市所有部分空き店舗を活用し、平成27年5月に開設されました。

観光客へのまちあるきガイドなど「おもてなし」の拠点として、また、多くの方が訪れ交流する「まちの駅」として、今後の観光中心施設としての利活用が期待されています。



2日目行程

- 市役所出発 → 消防署 → 西部雨水ポンプ場
- 坂出港西岸壁 → 番の州浄園 → 万葉会館 → 海の家
- 坂出小学校 → リサイクルプラザ
- 旧王越小学校 → 塩業資料館 → 西庄文化センター・西庄児童館
- カヌー研修センター → 坂出環境センター → 国府跡周辺
- 鴨川浄水場 → 市立病院

2日目の
お昼休憩



白峰パークセンター

1階展示室は各種会合やイベント開催などにご利用でき、「山のお旅所」として、各種観光案内とともにお遍路さんや観光客の憩いの空間となっています。また、屋上から見える眺望は絶景です。

大都市圏で開催される移住相談セミナーへの積極参加を

Q ふるさと帰郷支援センターが実施した田舎暮らし希望地域アンケートでは香川県は3年連続10位以内にランクインしている。東京で開かれる移住相談セミナーに県内他市町が参加しているが、本市も大都市圏で開催されるセミナーに積極的に参加し、活用してはどうか。

A 本市においては、香川県がUJターンへの推進業務を委託しているふるさと帰郷支援センターに対し、移住・交流に関する情報を提供するとともに、必要に応じて連携を図っています。

今後は東京、大阪などの大都市圏で開催される移住・交流イベントへの参加も検討するとともに、引き続き香川県の担当部局及び同センターと連携、協力し、本市への移住・交流の推進に努めていきます。(総務部長)

質問の主な項目

- ・安全に暮参できる環境づくり
- ・有害鳥獣による人的被害の状況と対策
- ・選挙権年齢引き下げへの対応

ドローンの有効活用に向けて地元企業との協力的体制の構築を

Q 最近話題のドローンは、災害救助時の活用など、大変な戦力として期待されている。特区申請や、災害時における企業との連携協定を締結する自治体もある中、本市においてはそのように取り組むのか。

A 現時点で、市内にドローンを運用する事業者は確認できていませんが、災害時ドローン活用の検討は必要と考えています。一方で、運用管理上の問題や利用促進と安全確保の両立など健全な利活用に向けた環境を整備することも検討課題と認識しています。

国における法規制の検討等、国や他市町の動向、予想される目まぐるしい技術革新等を注視しながら、今後研究していきます。(総務部長)



※ドローンとは遠隔操作等によって飛行する無人の航空機の総称です。

地域資源を十分に活用し、坂出創生を目指すべきでは

Q 坂出創生を進めるにあたり、地域の特性を十分に発揮しなければならぬが、どう生かしていくのか。県との関連性も重要であるが、どのようにタイアップするのか。

A 本市においては、由緒ある文化遺産も随所であり、豊富な地場産品など素晴らしい地域資源に恵まれています。今後懇談会で出される意見も参考にしながら、審議会での議論を経て活用方法を検討していきます。

県とのタイアップについては、「地方版総合戦略」の策定にあたり、県の総合戦略を勘案する必要があり、さまざまな機会を捉え、県との情報共有を図っています。その中で地域資源を生かした取り組みが求められている点においては、ある意味、自治体間の競争であると認識しています。

県及び県内市町との情報共有を行いながら、本市の特色や地域資源を生かした取り組みを第一に考え、策定作業を進めていきます。(市長)

質問の主な項目

- ・学校における土曜日の活用
- ・旧病院の早期撤去
- ・期日前投票場の増設

新しい制度に基づき誕生した新教育長の所信を伺う

Q 本年4月から新しい教育委員会制度に基づき、新教育長が就任したが、今後どのような教育方針で坂出の教育行政を進めていくのか。

A 前教育長の「志をばぐくむ教育」を継承しつつ、「未来を拓く力をはぐくむ人づくり」を教育理念としていきます。

現在、少子高齢化や国際化などの社会情勢に加え、ライフスタイルの多様化が顕著となり、子どもたちを取り巻く教育環境に大きな影響を与えているところです。

このような中で、今を生きる子どもたちには、安定志向や内向き志向ではなく、社会の激しい変化に柔軟に対応し、常に学び続ける意欲が求められることから、「未来を拓く力」として、①自立する力、②共生の力、③チャレンジする力を身につけてもらい、さらにはそれらを身につけた子どもたちが大人になり「学びが循環する人づくり」を目指します。

今後とも学校教育において、生きる力を育む教育、夢に向かって挑戦する教育、ふるさと坂出を誇りに思える教育を充実させるとともに、家庭、地域との連携を一層重視し、深めていきます。(教育長)

集団的自衛権行使についての
市長の見解は

Q 憲法9条を踏みにじり、海外で戦争する国づくりにつながる、集団的自衛権の行使を前提とした安全保障制度の審議が国において進められていることに関する市長の見解は。

A 日本国憲法が、戦後、我が国の平和の礎をなしてきたことは、言うまでもないことであり、本市においては、昭和59年に非核平和都市宣言を行つています。私は、坂出市長として、また唯一の被爆国である日本の一国民としても、全世界の核兵器が廃絶されるまで恒久平和を願い、戦争の悲惨さを強く訴え続けていく所存です。

一方、今日の我が国の安全保障をめぐる情勢が、国際テロや海洋における脅威の高まりにより、非常に危惧されるものとなる中、安全保障関連法案の審議に関しては、国民に議論を呼び起こすという意味で、大変いい機会であったのではないかと考えており、国民の注目が集まる中で、十分な議論をしていただきたいと考えています。
(市長)

本市経済の活性化のために、
中小企業振興基本条例の制定を

Q 本市経済の根幹となる中小企業を支援する中小企業振興基本条例を制定するなど、地域経済を活性化するために全市的な取り組みが必要とこれまでも訴えてきたが、市の取り組みが遅れているのでは。

A 本年4月に商工会議所に新会頭が就任したこともあり、地域経済の活性化策について新会頭と意見交換を行っています。ただ、会議所の会員内でも、中小企業から番の州企業のような大企業まで含まれるため、企業間のバランスをどのように取るかといった点も考慮しないといけないという問題もあります。また、条例を形骸化させないためにも、広く意見を拝聴する中で、市の組織体制についても検討していくべきであることから、会議所の新体制のもとで協議をしながら対応していきたいと考えています。
(市長)

質問の
主な項目

- ・教育再生首長会議参加の意図と教科書採択への影響
- ・負担軽減のための国保税引き下げ
- ・改正道交法への対応

市民意識調査アンケート結果
の公表を

Q まちづくり基本構想の策定に当たって実施した市民意識調査アンケートの結果は。

A 市民アンケートについては、満20歳以上の市民から4,400人を無作為抽出し、郵送による回答方式により平成26年12月10日から26日まで実施し、回答率は33.6%でした。回答からは、本市に居住されている大半の方が、本市に愛着を感じ、これからも住み続けたいと考えており、「保健・医療の充実」を最も重要視していることがうかがえます。
(総務部長)

Q アンケート結果の議会への報告はこれまで無かったが、市の方性を決める重要な施策につながる事柄は、議会にも報告すべきでは。

A 今回のアンケート結果は、まず、7月開催予定のまちづくり基本構想審議会において審議いただくための資料として配付準備を進めているもので、開催に合わせて市ホームページ等にも公表していきます。
(総務部長)

市指定ごみ袋をより使いやすい
品質形状へ改良しては

Q 本市の指定ごみ袋は材質が硬くて結びづらいとの苦情もあることから、丸亀市や宇多津町のよくな伸縮性があり破れにくく、持ち手のある使い勝手のよいものへ改良すべきと考えるが。

A ビニール袋の材質は、一般的に原材料に鉛を使用することで伸縮性が増大するとされていますが、以前ごみ袋から有害物質が検出されたこともあり、環境面の安全性を最優先し、鉛を含まないものを使用しています。

また、袋の形状については、当初はマチ付きのレジ袋タイプでスタートしましたが、市民の方々がごみ箱に入れて使用する際の使い勝手が悪いとの要望があったことから、地区衛生組織連合会等の意見を広く拝聴する中で、平袋タイプに変更したものです。なお、今回の要望は、市民の方々の思いの変化ともとらえ、今後、他市町の現状等を調査する中で検討していきます。
(市民生活部長)

質問の
主な項目

- ・日本版CCRCに対する見解
- ・家庭ごみ削減目標達成に向けた取り組み
- ・国内の自治体との友好都市縁組

防災の観点からも里山の
保全管理に力を入れてみては

Q 里山は薪炭用材の伐採や落葉の採取等を通じて維持管理されてきたが、昨今は地域住民との関係が希薄となり、竹による浸食などで荒廃が進んでいる。手入れがされない里山等に関し、土砂崩れなどの予防のためにもボランティアを募り、維持管理を行うてはどうか。

A 特に危険度の高い地区を対象に、毎年6月に県と合同によるパトロールを実施し、山の診断等を行うとともに、地域住民からの情報収集を行っています。また、土砂災害の可能性が高い箇所については、県と協議を行い、人工物による土留工を実施するなど、防災上の安全度を高める必要があると考えています。

(建設経済部長)

十分な周辺整備を行うことで
讃岐国府跡を魅力ある観光資源へ

Q 今後、讃岐国府跡が史跡指定されると、観光客が多く訪れることが予想される。綾川の堤防上に柳の木を植樹するなど景観的なおもてなしの機運を盛り上げてはどうか。また、周辺道路の拡幅など十分な周辺整備を行うことが必要であると考えるが、今後の予定は。

A 綾川の管理者である県からは、堤防上は、「河川区域内における樹木の伐採・植樹基準」に基づき維持管理されており、河川の通水断面への影響において柳等の樹木の植栽は好ましくないとの回答がありました。

また、踏切整備や周辺の市道の整備に関しては、地元土地改良区やJRなど関係機関との協議や地元関係者のご理解やご協力が必要不可欠です。今後、地元関係者の意見も伺いながら検討していきます。

(建設経済部長)

質問の
主な項目

- ・ 選挙権年齢引き下げ後の取り組み
- ・ 開発行為における緑地への課税
- ・ 老朽化したため池の保全

植條 敬介 議員 市民グループ 未来の会

公共施設の整備管理のため、
公共施設等総合管理計画の策定を

Q 国が策定したインフラ長寿命化基本計画をもとに、本市の公共施設を一体的に整備管理していくためにも、公共施設等総合管理計画の策定に向けて検討していくべきでは。

A 本市の公共施設の状態については、経年劣化による老朽化が顕在化し、維持補修等の増加による財政への影響が懸念されています。このことから公共施設については初期建設費だけでなく、使用状況等による費用対効果はもちろん、修繕も含めた維持管理費等の将来発生コストを加味した中長期的な観点からの検討が不可欠であると考えています。

これまでも、既存公共施設の利活用や再編整備については常に検討を行っています。また、国の指針や地方財政措置の動向なども踏まえた上で、公共施設等総合管理計画の策定を目指していきます。

(総務部長)

質問の主な項目

- ・ 空き家の適正管理
- ・ 携帯情報ツールを生かした情報発信
- ・ 総合教育会議の内容

観光協会新事務所を活用した
今後の具体的な取り組みは

Q 平成27年5月1日に人工土地南側1階の市所有部分を活用し「さらなる市民参加」につながる新たなボランティア制度の実現に向けた拠点として観光協会の新事務所が開設されたが、今後の事務所を活用した具体的な取り組みは。

A まちあるぎを中心とした、市民共働の観光振興につなげるため、新たな事務所をボランティアの方々の交流の場として利用してもらい、お互いのまちあるぎへの協力体制の構築、さらには、観光スキルアップ塾などを開催し、新たなガイドの育成を図ります。

新事務所をまちあるぎツアーの拠点とすることで、参加される観光客の方や市民の方々に対し、観光情報の提供や「さかいでブランド」等のPRを進めていきます。

(市長)



ICTを活用した市民参加によるまちづくりを

Q 千葉市では、レポーターとなる市民がスマートフォン上のアプリを活用し、道路が傷んでいる等、地域課題を写真や動画とともに市役所に報告し、課題の解決を図る「ちば市民協働レポーター」を実施しているが、本市も同様の事業に取り組んでどうか。

A 本市では、出前市役所を創設し、各地区の会議等に担当職員が出席し、地域の課題解決やにぎわい創出に必要な情報提供等に努めるとともに、地域の方々の生の声に耳を傾け、意見交換を行い、各地域の課題の把握等を行うなど、各地区において様々な活動を展開しているところであります。

千葉市の事例は市民協働で地域課題を解決する取り組みの一つとして、内容等を十分把握した上で、参考にしたいと考えています。(市長)



生活困窮者自立支援制度の充実のために関係機関の連携強化を

Q 生活困窮者が自らSOSを発することは難しいと考える。生活困窮者の自立支援の充実を図るためには、着実に支援につながる体制づくりが必要では。

A 生活困窮に至った理由等は様々であり、生活困窮者の相談窓口では多様な複合的な相談を受けることとなりますが、従来から、庁内関係部署や外部の関係機関とも連携を図って対応しています。

また、本年7月からは、県内の社会福祉協議会や福祉施設が基金を創設し、「香川おもいやりネットワーク事業」が開始されます。この事業は、その日の食にも窮する困窮者に食料の現物給付を行うなど、公的制度の狭間や制度の対象とならない課題に対応し、制度につながるまでの緊急的な支援を行うものであり、これら関係機関とも連携強化を図ってまいります。(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・市民参加によるまちづくり
- ・生活困窮者自立支援制度
- ・AED設置場所マップの作成

新教育委員会制度の柱である教育大綱についての市長の考えは

Q 新たに設置された総合教育会議において策定する教育大綱についての市長の考えは。

A 「坂出に生まれてよかった」、「坂出に住んでいてよかった」と思えるまちづくりの基本は人づくりであり、そのため、ふるさとを愛する心をはぐくむ愛郷育及び人を思いやる心をはぐくむ愛敬育の推進に取り組んでいます。これは新教育長の理念とも相通するものであり、互いに地域の教育課題についての認識を共有しながら、総合教育会議の場で十分協議して教育大綱を策定していきたいと考えています。

また、本年度策定予定の市政における最上位の方針となる「坂出市まちづくり基本構想」との整合性も図ってまいります。(市長)

質問の主な項目

- ・連合児童会・生徒会の活動
- ・特定空家等の判断基準と本市の対応
- ・新病院事業収支シミュレーションの更新

ふるさと納税の返礼品を活用し交流人口の増加を図っては

Q ふるさと納税制度が全国的に注目を集める中、返礼品に市内うどん店の無料券等を加えることで、本市を訪れる交流人口が増加することにもつながると考えるが。

A 今年度お礼の品を大幅にリニューアルした際に、地場産業の育成の観点からさかいでブランドに認定された本市にゆかりのある商品を中心に、お礼の品の種類を増やし、28品目から選択可能とするともに、これまで5万円以上としていた贈呈の基準を1万円以上とし、2万円以上寄付した方については、お礼の品を複数選択できることとしました。

今後とも一人でも多くの方から寄付を募るために、お礼の品の種類をさらに増やしたいと考えており、観光振興にもつながる市内うどん店の無料券等の追加は、貴重な意見として参考にさせていただきます。(総務部長)



さかいでブランドを中心としたお礼品

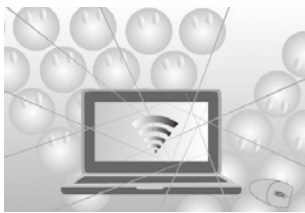


全議案全会一致で可決
付託議案
2件

総務消防 委員会

情報システムの更新のため 債務負担行為を設定

現行の情報システムは、平成21年度の基幹システムの再構築に合わせて調達したもので、サーバー機器が老朽化していることや、庁内のパソコン端末をWindows8へと更新していくため、情報システムもそれに対応したものに更新していく必要があります。システムの構築、運用保守を含めた5年間のリース契約とするため、次年度以降に係る費用、9,490万5千円を債務負担行為として定めるものです。



※複数年度にわたる事業を行うなど、将来にわたり地方公共団体が債務を負担する行為を行う場合には、地方自治法第214条において、その限度額を債務負担行為として予算で定めなければならないとされています。

全議案全会一致で可決
付託議案
2件

教育民生 委員会

介護保険1号保険料の 低所得者軽減強化！

消費税率引き上げに伴う社会保障充実策の1つとして、高齢化の進展に伴う保険料水準の上昇に対応するため、介護保険法施行令等を改正し、公費により低所得者の第1号保険料軽減強化を図ることとされました。

Q 保険料軽減措置の内容は。
A 第1号被保険者のうち、①生活保護受給者 ②世帯全員が市県民税非課税で老齢福祉年金を受給されている方 ③世帯全員が市県民税非課税で本人の課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円以下の方について、基準額に乗じる割合を0.05減じ、保険料を3,200円軽減するものです。平成27年度は3,048人の対象者数を見込んでいます。



坂出北フルインター建設促進特別 委員会



フルインター化へ大きな前進！

平成25年6月定例会において、坂出北インターチェンジのフルインター化の早期実現を決議して以降、“坂出北インターチェンジは「命の道」、フルインター化の早期実現に向けて!!”をキャッチフレーズに、市議会においても支援を行ってきましたが、坂出北インターチェンジのフルインター化の早期実現をより強力に推進するため、6月定例会最終日に、特別委員会を設置しました。

委員会の構成は以下のとおりです。

委員長	若杉 輝久	副委員長	大前 寛乗
委員	村井 孝彦	齊藤 義明	茨 智仁
	植條 敬介	野角 満昭	楠井 常夫

全議案全会一致で可決
付託議案
2件

市民建設 委員会



コミュニティ助成事業の 周知徹底を！

Q 獅子舞や太鼓台の更新に活用されているコミュニティ助成金の申請方法や選定基準は。
A 当該コミュニティ助成は自治総合センターが宝くじの受託収入を財源に行っているもので、祭り関係のほかに、自治会活動、防災関係の活動に助成を行っています。毎年7月に連合自治会の理事会で、制度の紹介を行い、祭り関係で問い合わせがあった団体については、にぎわい室から連絡し、申請を行っていただいています。また、どの団体が採択されるかは、自治総合センターの裁量であり、市は申請事務のみを担っています。

Q 多くの団体が制度を利用できるよう、さらなる周知徹底を図っては。
A 基本的には、地域のコミュニティ活性化のための助成であり、自治会を通じて各団体に周知を図っています。再度、連合自治会の理事会で紹介することで、周知徹底を図っていきます。

全議員が賛成した議案(可決)

市長提出議案

- 予算** 平成27年度坂出市一般会計補正予算案 など予算案 2件
- 条例** 坂出市土地改良事業分担金等賦課徴収条例制定 など条例案 2件
- その他** 工事の請負契約など 2件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【議案内容等・審議結果】を
ご覧ください。

議員提出議案

坂出市議会会議規則の一部を改正する規則制定
ヘイトスピーチ対策に関する意見書

意見書全文

ヘイトスピーチ対策に関する意見書

近年、国内では特定の国籍の外国人や人種、民族を排斥する差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが行われており、大きな社会問題となっている。

2013年10月から昨年にかけて、特定の国籍・民族の外国人に対する発言に関係する裁判が、京都地方裁判所および大阪高等裁判所にて行われていたが、最高裁判所は2014年12月9日付けで、その違法性を認める決定を行った。

また、昨年7月24日に、国際連合・自由権規約人権委員会は日本政府に対し、ヘイトスピーチの禁止などの措置を取るべきとの勧告を行い、さらに同年8月29日には、国際連合・人種差別撤廃委員会が日本政府に対し、法による規制を含めたヘイトスピーチへの適切な対処に取り組むことを強く求める勧告を行った。

本市においては、「坂出市人権尊重のまちづくり条例」を制定し、お互いの人権が尊重され、自由かつ平等で公正な社会の実現のため、人権尊重のまちづくりを推進しており、ヘイトスピーチは、決して許されるものではないと認識している。我が国においては、これまでも外国人に対する差別や偏見をなくす啓発に取り組み、多文化共生社会の実現を目指してきた。2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を控え、ヘイトスピーチを放置することは、国際社会における我が国への信頼を失いかねないものと危惧している。

よって、国においては、表現の自由に配慮しながらも、ヘイトスピーチに関する、早急な対策を講ずるよう強く要望する。

議会運営委員会での意見書案の各会派協議結果

市民の皆さん等が持参された陳情(議会に対する要望・希望)のうち、行政機関等への意見書の提出や議会の決議を求めるものについては、議会運営委員会において各会派の意見聴取を行います。このうち全会一致となったものは、議会運営委員会が提出者となり、意見書案を提出します。

- ①消費増税増税中止を求める意見書提出を求める陳情 (提出者) 坂出民主商工会
- ②ヘイトスピーチ対策に関する意見書 (提出者) 市民グループ未来の会

賛成 ○ 反対 ×	市民グループ 未来の会	新政会	公明党 議員会	市民の声・ 市民と共に	改進の会	日本共産党 議員会	新緑
①	×	×	×	×	×	○	×
②	○	○	○	○	○	○	○

6月30日に国土交通省より、坂出北インターチェンジがスマートインターチェンジ準備段階調査箇所に選定されました。今後は、調査・検討の一部を担う国等と連携しながら、効率的なスマートインターチェンジの準備、検討を推進していきます。



7/11には太田国土交通大臣が現地を視察

Voice

～まち歩きの中で～

「チーム王越」を中心に地域づくりが進む王越町に新たにオープンした「まぐれチョイcafe Gosh」で開催された音楽イベントに参加。王越名物の鯛めし片手に立ち見ができるほどの盛況の中、お話を伺ってきました。



婦人会を中心とした鯛めしの販売



6/13[±]
王越町



Q 若い世代にとっての王越の魅力とは？

ゆったりと流れていく時間の中で、自然と共に生きているところ。人口減少等の課題に対して、地元の人達が自ら考え、行動し、頑張っているところには非常に共感を覚えます。

(SANUKIかしまし娘 左：松岡里佳さん)



なんといっても豊かな自然。瀬戸内海と五色台に囲まれた素敵なロケーションが一番の魅力です。

(スタッフ 津雲夏美さん)



出会ったばかりの人でも受け入れてくれる人の優しさ、温かさ。他にはない人との距離感の近さにすっかりハマってしまいました。

(スタッフ 矢野千晶さん)

全国から坂出市に

本市の施策を調査・研究するために全国各地の議会が本市を訪れています。5月1日から7月31日に来庁された12議会を掲載しています。



本市のイチオシ施策

認知症高齢者等への対応など、高齢者に対する施策は全国の中でも先進的な取り組みとして知られています。



議会名	視察内容
5月20日 長崎県唐津市議会	認知症初期支援チームによる取り組み
7月1日 神奈川県海老名市議会	認知症初期支援チームによる取り組み
2日 青森県八戸市議会	市民後見推進事業
3日 和歌山県岩出市議会	にぎわい創出事業
6日 千葉県習志野市議会	認知症初期支援チームによる取り組み
7日 秋田県湯沢市議会	市民後見推進事業
9日 東京都中野区議会	市内循環バスの運行
14日 群馬県渋川市議会	さかいでブランド認定制度
16日 長野県上田市議会	認知症初期支援チームによる取り組み
23日 京都府南丹市議会	都市計画線引きの見直しについて
29日 千葉県野田市議会	市民後見推進事業
長野県佐久市議会	”



編集後記

今議会において「坂出北フルインター建設促進特別委員会」が設置されました。現在の坂出北インターチェンジ(IC)は本州方面からのみ出入りが可能なハーフインターです。物流や防災、さらには観光における坂出・中讃地域の拠点性を高めるために、これを四国方面への出入りも可能にするフルIC化が長年にわたり強く望まれていました。

議会においても平成25年6月議会で「早期実現に関する決議」を可決するなど関係機関に働きかけてまいりました。この間、より少ない予算で建設可能なスマートIC制度の活用も検討され、本年6月27日には多くの市民が参加してフルIC化実現に向けてのシンポジウムが開催されるなど大きく機運が高まってまいりました。このような中、同30日に国土交通省からスマートICの整備に向けた準備段階調査(国の直轄事業)の対象に坂出北ICを選んだとの発表がありました。

フル化に向けた大きな前進です。これまでの関係者の努力によって育てた蕾(つぼみ)が大きく開花できるよう充実した特別委員会にまいります。(輝)

広報広聴委員会

委員長	若杉輝久	副委員長	出田泰三
委員	植原 泰	東原 章	鳥飼年幸
	若谷修治	茨 智仁	吉田耕一

表紙:さかいで

大橋まつり

50回記念となる今回は、8/1(土)に総おどり、8/2(日)は太鼓台競演、8/9(日)に海上花火大会等が行われます。



6月定例会で
同意した人事案件
【敬称略】

◎坂出市教育委員会委員
小川 幸彦

次回開催は…
9月定例会は9月初旬
に開催予定です

